

4技能型の英語授業を成功させるための必須アイテム!

クラスルーム・イングリッシュという、まず思い浮かぶ表現として、

“Look at the blackboard.”

“Open your textbook at page 24.”

“Make groups of four.”

…のようなものがあります。これらは教師から生徒への指示の表現が中心で、一般的にクラスルーム・イングリッシュと呼ばれてきました。これらは生徒から見ると、教師からの指示を受けるための表現、つまり“Passive Classroom English”と捉えることができます。しかし、英語の授業が4技能型になり教師が英語で授業をすすめることで、「先生の言っていることが理解できない」という場面がどんどん増えてきます。その場合、

「どういう意味ですか?」

「もう少し説明してくれませんか?」

「もう一回言ってください」

…といった、生徒の側から疑問を解き明かそうとする、より積極的なクラスルーム・イングリッシュが必要です。それを“Active Classroom English”と呼んでいます。この“Active Classroom English”を生徒にしっかり指導していくことが、4技能型の英語授業を成功させるカギになります。このDVDでは、自分から疑問を解き明かしていくという積極的な“Active Classroom English”を授業の中で使いながら体感的に学んでいく過程をご覧いただけます。ぜひ、クラスルーム・イングリッシュを授業のなかで効果的に活用していただき、4技能の授業を活発なものにしていってください!!

自ら疑問を解き明かしていき、より積極的なクラスルーム・イングリッシュ!

四技能型授業を活発にする

Active Classroom English

~使って覚えて体感する、クラスルームイングリッシュ~

商品
番号

E151-S

全1巻 8,800円(税込・送料別) / 84分

授業・解説: 内田 浩樹 (国際教養大学大学院 英語教育実践領域 教授)

授業クラス: 三輪田学園中学校・高等学校



■はじめに

- ・この授業のねらいと、“Active Classroom English”について

<ライブ授業>

■授業のイントロダクション

- 英語でコミュニケーションできるためには何が必要?
- 英語で会話しているときに困るのはどんなとき?
- 理解できないとき、どうすれば良い?

- ・今日の目標:理解できなかったことを尋ねられるようになる

■尋ねるときによく使う言葉(単語)は何でしょうか?

■いろいろ尋ねて英語でメモしましょう(J)

- 聞いて書き取ってください
- 綴りを尋ねよう
- 意味を尋ねよう
- 発音を確かめてから意味を尋ねよう
- 日本語で確認しよう
- 英語で言えますか?
- いろいろ尋ねて英語でメモをとろう(E)
- 授業のまとめ
- おわりに

購入
特典

特典1 授業で使えるパワーポイント
(スライド59枚)

特典2 QuickLook2014
~37 Useful Expressions
for English Classrooms~の
Active Classroom Englishのリストと音声データ!!

使う場面を体感しながら“Active Classroom English”!!

商品詳細・ご注文は通販サイトから… www.japanlaim.co.jp/

サンプルムービー配信中

JLC ジャパンライム株式会社

TEL.03(5840)9980 FAX.03(3818)6656

ジャパンライム E151

検索

【お申込み・お支払い方法】○ご希望の商品番号を指定し、電話かハガキ、FAX、もしくはDVD通販サイトにてお申込みください。受注確認後3~6営業日後でお届けします。
○送料は1回につき800円(税込)。○到着日指定で「代金引換(手数料無料)」の宅配便でお送りします。○カード(VISA、MASTER、AMEX、他)もご利用できます(分割も可)。

E151
2019.10